

事務事業名		大船渡市魚市場水揚増強対策事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画掲載事業	<input type="checkbox"/> 総合戦略掲載事業
政策体系	政策名	0 1 豊かな市民生活を実現する産業の振興		事業期間	
	施策名	0 1 地域活力を担う水産業の振興		区分	
	基本事業名	0 3 水産加工・流通機能の強化		単年度繰返	
根拠法令		-		※期間欄に開始年度を記入	
所属	部課名	農林水産部水産課		【開始年度】	
	課長名	新沼 秀樹		-	
	係名	漁政係	電話	0192-27-3111	
	担当者	船砥 健司	内線	373	
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				事務事業区分	
大船渡市魚市場への水揚げ増強を図るため、市と大船渡水産振興会(市から補助金を交付)が協力して、廻来船(地元船籍以外の船)及び地元船(サンマ、イサダ、定置網など)の誘致、水揚げ優秀船の表彰式(水揚金額ランキング上位の船の表彰)、水揚げ増強懇談会(大船渡市魚市場への水揚げの増強について、船主や組合等からの意見などを聴取する場)の開催などを行う。				E 一般	
全体計画(※期間限定複数年度のみ)				総投入量(千円)	
				事業費	財源内訳
					国庫支出金
					都道府県支出金
					地方債
					その他
					一般財源
				事業費計(A)	0
				人件費	正規職員従事人数
					延べ業務時間
					人件費計(B)
					トータルコスト(A)+(B)
					0
					0

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)
前年度実績(前年度に行った主な活動) ・大船渡水産振興会への補助金交付事務、水産振興会と連携した地元船及び廻来船の誘致活動、水揚優秀船の表彰の実施	名称 単位
今年度計画(今年度に計画している主な活動) ・前年度とほぼ同じ内容 ・新型コロナウイルス感染症拡大の状況により、水揚優秀船表彰式及び水揚増強懇談会の実施	ア 廻来船の誘致活動件数 件
	イ 地元船の誘致活動件数 件
	ウ
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 ・大船渡水産振興会(直接) ・地元船及び廻来船の船主(間接)	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)
	名称 単位
	カ 大船渡市魚市場水揚量 t
	キ 大船渡市魚市場水揚金額 百万円
	ク
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) ・誘致活動により、大船渡市魚市場への水揚量が増加する。	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)
	名称 単位
	サ 水揚数量に占める廻来船の割合 %
	シ 水揚金額に占める廻来船の割合 %
	ス
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) ・魚市場の水揚量が増加。	

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業費	財源内訳	単位	年度						
				2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(目標)	6年度(目標)	7年度(目標)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	
		都道府県支出金	千円	0	0	0	0	0		
		地方債	千円	0	0	0	0	0		
		その他	千円	654	1,469	3,205	3,129	3,200	3,200	
		一般財源	千円	0	0	0	0	0		
	人件費	事業費計(A)	千円	654	1,469	3,205	3,129	3,200	3,200	
		正規職員従事人数	人	1	1	1	8	8	8	
		延べ業務時間	時間	30	30	30	60	60	60	
		人件費計(B)	千円	120	120	120	240	240	240	
		トータルコスト(A)+(B)	千円	774	1,589	3,325	3,369	3,440	3,440	
⑤活動指標	ア	件	100	118	93	120	120	120		
	イ	件	1	1	1	1	1			
	ウ									
⑥対象指標	カ	t	34,218	23,955	28,202	44,000	47,000	50,000		
	キ	百万円	6,091	4,265	5,578	6,490	6,725	7,000		
	ク									
⑦成果指標	サ	%	40	19	18	33	33	33		
	シ	%	39	31	28	36	36	36		
	ス									

事務事業ID	0583	事務事業名	大船渡市魚市場水揚げ増強対策事業
--------	------	-------	------------------

<b>(3) 事務事業の環境変化・住民意見等</b>	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	・昭和40年代初め(正確な年度不明)、魚市場への水揚げ増強を図るために開始した。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	・近年のサンマ、サケ、スルメイカの不漁にみられるように、従来獲れていた魚が獲れず、獲れていなかった魚が獲れるなど、これまでの不漁とは異なった状況となっている。 ・水揚げの不振は、当市魚市場だけではなく、岩手県沿岸全域においても同様の傾向にあり、その要因としては海水温の上昇による漁場の変化や水産資源量の減少、盛漁期における天候の変化などが考えられる。 ・水揚量の増加を図るため、市と大船渡水産振興会は県外の船主を訪問し、漁船誘致活動を実施、当市魚市場の高度衛生・品質管理などをPRするなどして、大船渡港への入港について働きかけを行っている。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	・これまでの誘致活動により、主力魚種であるサンマの水揚げ金額は、全国2位、本州1位など、顕著な成果が現れている。水産関係者からは、当市魚市場への水揚げ増強を図ってため、今後も事業の継続が望まれている。 ・船主からは、水揚げ時の給水や漁船員の休憩室等に対する要望が寄せられており、十分に対応出来る旨を説明している。

2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている      ▽ 理由・内容 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつかか？意図することが結果に結びついているか？ ・水揚げ増強対策事業を実施することで、当市魚市場への水揚量が増加するとともに、水産流通加工業の振興が図られる。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である      ▽ 理由・内容 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ ・当市魚市場への水揚量の増減は、市内の水産加工業の経営に影響が大きく、市経済に大きな影響を及ぼすことから、この事業を実施しなければならない。船への給油、乗組員の飲食(積載を含む)、包装資材、運送などの波及効果も期待できる。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である      ▽ 理由・内容 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ ・当市魚市場への入港を船主に誘致し、水揚げ増強を目的としているため、対象及び意図は適切となっている。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない      ▽ 理由・内容 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ ・漁船誘致の訪問先と廻来船の入港実績の結果を踏まえ、訪問先や誘致方法等を検討する必要がある。また、他魚市場の水揚げ増強対策について、情報収集を行い成果の向上に努める。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある      ▽ 理由・内容 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ ・この事業は、当市の基幹産業である水産業の流通を支える重要な役割を果たしているため、廃止・休止した場合、当市への影響は大きい。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない      ▽ 理由・内容 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) ・予算の削減により、漁船誘致活動が縮小となるため、廻来船の入港が減少など、当市魚市場への水揚げに影響がでる。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない      ▽ 理由・内容 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) ・毎年度初めに、効率的・効果的な活動方法等について検討している。地元船及び廻来船の誘致活動には、時間を要するため、所要時間を削減するのは難しい。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である      ▽ 理由・内容 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ ・当市魚市場施設使用料を財源としているため、公平、公正な負担になっている。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果	(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																					
1 現状維持	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問先及び誘致活動の内容を見直し</li> <li>・他魚市場の活動内容や実績についての情報収集</li> <li>・平成28年4月に大日本水産会の優良衛生品質管理市場・漁港認定を取得。</li> <li>・平成31年4月に岩手県高度衛生品質管理地域の認定を取得。</li> </ul>
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			
※(1)改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入。 (現状維持の場合、コスト及び成果は「維持」) (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																							

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
2 改革改善(縮小・統合含む)	水産資源の動向や漁況等の情報収集に努めるとともに、対象魚種や誘致先等を検討しながら、効果的な誘致活動等を実施していく必要がある。